

## 財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

### 1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

#### 1) 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券 ・ ・ 該当するものはない。

(2) 満期保有目的の債券以外の有価証券

①時価のあるもの ・ ・ 期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）  
 によっている。

#### 2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	297,864,241	0	103,678,291	194,185,950
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
投資有価証券	4,687,763,248	1,419,452,757	850,389,830	5,256,826,175
基本財産計	5,185,627,489	1,419,452,757	954,068,121	5,651,012,125
特定資産				
学術研究奨励基金	267,569,167	54,667,500	16,930,000	305,306,667
特定資産計	267,569,167	54,667,500	16,930,000	305,306,667
合計	5,453,196,656	1,474,120,257	970,998,121	5,956,318,792

(注1) 基本財産のうち普通預金の当期減少額は、投資有価証券の取得に充てた金額89,285,059円及び平成27年11月6日開催の理事会及び評議員会の決議に基づき一般正味財産へ振替えた金額14,393,232円である。

(注2) 基本財産のうち投資有価証券の当期増加額は、味の素株式の売却代金・公社債の償還金・普通預金をもって取得した株式・リート・公社債の取得額932,879,971円及び投資有価証券評価益486,572,785円である。

(注3) 基本財産のうち投資有価証券の当期減少額は、味の素等株式の売却簿価 527,750,000円、償還された公社債の簿価200,110,000円及び投資有価証券評価損122,529,830円である。

(注4) 特定資産のうち学術研究奨励基金の当期増加額は、株式・公社債の評価益37,737,500円及び特定資産の学術研究奨励基金として保有していた株式の売却代金20,306,044円のうち簿価相当額16,930,000円を普通預金に預け入れたものである。なお、売却した株式の売却益3,376,044円は一般正味財産増減の部の特定資産運用益に計上している。

(注5) 特定資産のうち学術研究奨励基金の当期減少額は、株式の売却簿価16,930,000円である。

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	194,185,950	(194,185,950)	(0)	(0)
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(0)
投資有価証券	5,256,826,175	(5,256,826,175)	(0)	(0)
小計	5,651,012,125	(5,651,012,125)	(0)	(0)
特定資産				
学術研究奨励基金	305,306,667	(305,306,667)	(0)	(0)
小計	305,306,667	(305,306,667)	(0)	(0)
合計	5,956,318,792	(5,956,318,792)	(0)	(0)

### 4 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	金額
経常収益への振替額	
理事会及び評議員会決議による振替額	14,393,232
合計	14,393,232